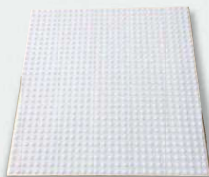




👉 各地域の販売代理店・商社はこちらから

KKシートの販売

標準価格	2,600円/枚
製品寸法	900mm×900mm
製品材質	ポリプロピレン樹脂
梱包形態	25枚一組（段ボール箱詰め）



- ◆ 1枚から販売可能です。
- ◆ 別途、送料が必要になります。
- ◆ 購入の際は販売代理店が商社（ホームページに掲載）にお問い合わせください。

注意事項

◆ KKシート工法の採用に際して

本工法を現場で使用する場合には、予め発注者の許可を得てください。
施工に際しては、KKシート工法（別紙）の施工要領に基づいて使用してください。

◆ KKシートの保管・取扱いについて

紫外線による劣化を防ぐため、直射日光を避けて保管してください。またゴミや油類が付着しないように保管してください。
破損・変形を防ぐため、衝撃や無理な積み重ねを避けてください。

◆ KKシートの取付けについて

打継目の性能を確保するため、鉄筋のかぶり部を含め打継面全体にKKシートを使用してください。
打継目に鉄筋等が密に配置され型枠にKKシートの貼付が難しい場合、その部位または打継面全体の処理方法を別途計画してください。

◆ KKシートの廃棄処理について

KKシートの処分にあたっては産業廃棄物と同様な処理を行ってください。
（KKシートは、純粋な炭化水素と少量の無機充填材を原料とするため、焼却時の有害性はありません。）

◆ NETIS掲載期間終了に関する御案内

KKシート工法（KT-030007-V）について、10年間の掲載期間が2017年3月をもって終了することとなります。また、掲載期間終了に伴い、準推奨技術については別途「準推奨技術等情報」にて引き続き掲載する予定です。
しかしながら、上記の掲載については、NETIS製品としての技術提案および現場施工における創意工夫等に該当するか、客先等への確認をお願い致します。

販売元: **E 協立エンジ株式会社**

本 社: 〒114-0023 東京都北区滝野川6-3-1 AKビル8F TEL: 03-5394-1360 FAX: 03-5394-8232
<http://www.kyoritsu-enji.co.jp/index.htm>

NEW PRODUCT SYSTEM

KK Sheet construction method

KKシート工法

コンクリート打継目処理用樹脂シート



施工性と品質を向上させる コンクリート鉛直打継目工法!

KKシートは剛性のある凹凸を有するエンボス加工樹脂シートです。

KKシート工法は、従来のコンクリート打継目処理（チッピング、凝結遅延剤処理等）に代わり、円錐台形の突起を有する樹脂製シートを型枠に取り付け、コンクリートを打設後の脱型と同時に必要な性能を有する打継目が形成される工法です。

弊社HP



お問い合わせ



EKYORITSU

特徴

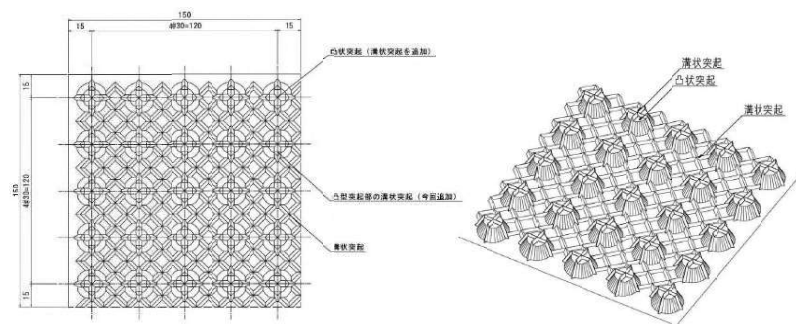
- 均質で必要な性能を有する打継目処理が可能となり、従来工法より安定した品質確保が図れます。
- ハツリによる目粗し作業をKKシートの着脱作業で代替することができ、施工の合理化が図れます。
- 騒音・粉塵や汚濁水などの発生がなく、作業環境の衛生及び周辺環境の保全が図れます。
- NETISの準推奨技術情報に掲載する予定です。

KKシートの製品形状

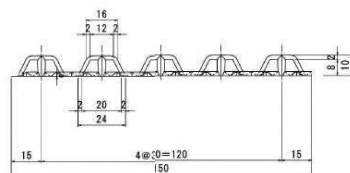
製品材料	ポリプロピレン樹脂
製品寸法	900mm×900mm
厚さ・色	厚さ0.4mm、乳白色
凸状突起高さ・配置間隔	高さ10mm、間隔30mm



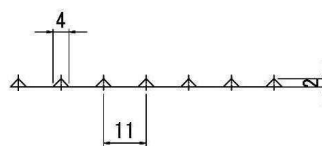
KKシート形状図



凸状突起の形状



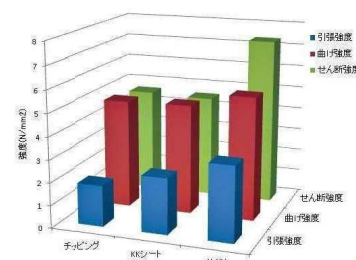
溝状突起の形状(2倍に拡大)



打継目の性能

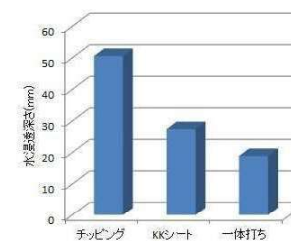
- KKシートによる打継目は、打継目のない一体打ちコンクリートに比べて、曲げ強度で89%、引張強度で74%、せん断強度で62%の強度特性を有しています。
- チッピング処理による打継目に比べ、同等以上の強度特性が得られます。
- 水密性は、チッピング処理による打継目より優れています。
- 施工上の弱点となりやすい打継目において、必要な性能の確保と耐久性の向上が図れます。

打継ぎ方法による各種強度比較



打継ぎ方法による水浸透深さ比較

透水試験:インプット法(10気圧×7日間)



KKシートの施工手順

- 1 KKシートをタッカー等により型枠に貼りつけます。KKシートを連続して貼りつける場合は突起部を一列重ね合わせて施工します。
- 2 型枠への貼りつけは打継目の強度・耐久性を確保するため、鉄筋のかぶり部を含めて打継面の全面とします。
- 3 鉄筋やシース貫通孔とKKシートの凸部が重なった場合、コンクリート打設時における孔部からのノロ漏れを防止するためにKKシートの凸部突起を専用ゴテで平坦にしてから貫通孔を設ける等の対処をします。
- 4 コンクリートの打設、養生後、脱型時にKKシートを全て取り剥がします。
- 5 打設面に十分な給水を行って新設コンクリートを打設し、打ち継ぎを完了します。



型枠への貼りつけ



打継面の状況

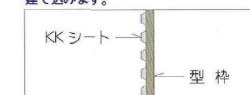


貫通孔の施工例



KKシート用専用ゴテ

KKシートを取り付けた型枠を建て込みます。



コンクリート打設・養生後にKKシートを取り替えます。



打継面に十分な吸水を行い、コンクリートを打継ぎ、完成です。



KKシートの施工手順